



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 東洋製罐株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5901 URL <http://www.toyo-seikan.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 金子俊治

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 田谷信幸

TEL 03-3508-2113

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	371,147	△1.5	18,216	△16.8	16,701	△26.9	4,212	△54.1
23年3月期第2四半期	376,918	4.5	21,900	61.3	22,851	55.3	9,183	22.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 5,832百万円 (0.7%) 23年3月期第2四半期 5,791百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	20.88	—
23年3月期第2四半期	44.61	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	874,382	618,166	63.6
23年3月期	863,957	613,619	64.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 556,266百万円 23年3月期 552,564百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	709,000	0.4	15,000	△39.9	14,500	△47.3	△1,500	—	△7.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	216,592,000 株	23年3月期	216,592,000 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	14,905,096 株	23年3月期	14,904,019 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	201,687,553 株	23年3月期2Q	205,887,643 株
----------	---------------	----------	---------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) 所在地別セグメント .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で落ち込んだ生産活動に持ち直しの動きが見られたものの、厳しい雇用・所得環境の継続に加え、円高の進行など、依然として先行き不透明な状況のまま推移しました。

このような環境下におきまして、当社グループは業績の回復を図るべく、生産・販売・研究開発の各分野で業務改革の推進に努めました。当第2四半期連結累計期間においては、飲料用ペットボトルが減少したほか、震災で当社仙台工場および日本クラウンコルク株式会社石岡工場が被災したことや電池材を中心とした鋼板の販売が大幅に減少したことなどにより、売上高は3,711億47百万円（前年同期比1.5%減）となりました。利益面では、営業利益は原材料価格の上昇や売上高の減少により182億16百万円（前年同期比16.8%減）となり、経常利益は為替差損の計上などにより167億1百万円（前年同期比26.9%減）となりました。四半期純利益は震災にともなう特別損失を計上したことなどにより42億12百万円（前年同期比54.1%減）となりました。

各セグメントの営業の概況は次のとおりです。

#### [包装容器関連事業]

売上高は3,237億89百万円（前年同期比0.7%減）となり、営業利益は154億20百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

##### ① 缶詰用空缶・その他金属製品の製造販売

飲料用空缶の売上高は、前年同期を上回りました。

清涼飲料向けは、震災の影響によるお得意先の増産などによりコーヒー・果汁飲料向けが伸長したほか、タイのNext Can Innovation Co., Ltd.において炭酸飲料向けが好調に推移したことにより増加しました。

アルコール飲料向けは、中国の広州東罐商貿有限公司においてビール向けが好調に推移したほか、国内でチューハイ向けなどが伸長し増加しました。

飲料用以外のメタル容器では、車載用二次電池・殺虫剤向けが増加しましたが、当社仙台工場が震災により被災したため水産食品向けなどが大きく減少し、売上高は前年同期を下回りました。

メタルキャップでは、ビール向けのマキシキャップの輸出が増加しましたが、タイのCrown Seal Public Co., Ltd. が為替変動の影響を受け、売上高は前年同期並となりました。

##### ② プラスチック製品の製造販売

飲料用ペットボトルの売上高は、前年同期を下回りました。

500mlを超える大容量ボトルは、炭酸飲料向けなどが減少しましたが、震災の影響による需要増にともないお茶類・ミネラルウォーター向けが伸長し、増加しました。500ml以下の小容量ボトルは、炭酸飲料向けでプリフォーム販売への移行が進み、減少しました。プリフォームは、ミネラルウォーター向けが減少しましたが、炭酸飲料向けでボトル販売からの移行が進んだことにより、微増となりました。

一般プラスチックボトルでは、タイのWell Pack Innovation Co., Ltd. および中国の広州東罐商貿有限公司において頭髮用品向けが減少しましたが、国内でドレッシング向けが伸長したほか、台所用洗剤・洗濯用洗剤向けなどが増加し、売上高は前年同期並となりました。

プラスチックフィルムでは、洗濯用洗剤向けの詰替用容器が好調に推移したほか、震災の影響による需要増にともない果実食品・医療食・カレー向けが増加し、売上高は前年同期を上回りました。

プラスチックキャップでは、清涼飲料向けが震災で日本クラウンコルク株式会社石岡工場が被災したことなどにより減少し、売上高は前年同期を下回りました。

##### ③ ガラス製品の製造販売

びん製品では、ドレッシング・医薬系ドリンク向けが増加しましたが、清涼飲料・焼酎向けが減少し、売上高は前年同期を下回りました。

ハウスウェア製品では、セールスプロモーション品が夏期の電力使用制限により減産を余儀なくされ、売上高は前年同期を下回りました。

##### ④ 紙製品の製造販売

紙コップ製品では、スープ向けなどが増加しましたが、震災の影響によりヨーグルト向けが大きく減少したほか、飲料コップが低調に推移し、売上高は前年同期を下回りました。

印刷紙器製品では、ビール類向けのジャケットパックが増加しましたが、携帯電話・医薬系ドリンク向けなどが減少し、売上高は前年同期を下回りました。

段ボール製品では、震災の影響により需要が増加した清涼飲料・ビール類向けが第2四半期においてお得意先の在庫調整により減少したほか、菓子向けが低調に推移し、売上高は前年同期を下回りました。

#### ⑤エアゾール製品・一般充填品の受託製造販売

エアゾール製品では、染毛剤で国内の伸長やタイのToyo Filling International Co., Ltd.において新規受注があったほか、殺虫剤・制汗消臭剤が好調に推移し、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

一般充填品では、頭髮用品が増加したほか、入浴剤・化粧品で新規受注があったことにより、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

#### [鋼板関連事業]

売上高は254億66百万円（前年同期比12.5%減）となり、営業利益は6億75百万円（前年同期比79.9%減）となりました。

電気・電子部品向けでは、電池材が、国内のアルカリ乾電池向けで一時的な需要増があったものの海外において一部ユーザーの需要が低迷したことなどにより減少し、売上高は前年同期を下回りました。

自動車・産業機械部品向けでは、自動車部品材料などが減少し、売上高は前年同期を下回りました。

建築・家電向けでは、冷蔵庫向け扉材がエコポイント制度の終了などの影響を受け減少し、売上高は前年同期を下回りました。

#### [機能材料関連事業]

売上高は144億65百万円（前年同期比3.1%増）となり、営業利益は15億21百万円（前年同期比28.5%減）となりました。

磁気ディスク用アルミ基板では、パソコン・サーバー向けなどが需要の低迷や為替変動の影響を受け減少しました。

光学用機能フィルムでは、堅調であったフラットパネルディスプレイの需要が第2四半期において低迷しました。

その他、顔料・ゲルコートが低調に推移しました。

#### [その他]

硬質合金・機械器具および農業用資材製品などの製造販売、石油製品などの販売、損害保険代理業および不動産管理業などにつきましては、売上高は74億26百万円（前年同期比5.3%減）となり、営業利益は4億57百万円（前年同期比14.6%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における連結子会社および持分法適用関連会社の増加は、次のとおりです。

##### <1>連結子会社

- ・増加（3社）

株式会社ダック商事

Toyo Mebius Logistics (Thailand) Co., Ltd.

TSK Merger Corporation

##### <2>持分法適用関連会社

- ・増加（1社）

株式会社T&Tエナテクノ

#### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

- ・資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、8,743億82百万円となりました。現金及び預金が減少しましたが、受取手形及び売掛金や棚卸資産の増加により、前連結会計年度末に比べ104億24百万円の増加となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、2,562億16百万円となりました。支払手形及び買掛金等の支払債務や借入金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ58億78百万円の増加となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、6,181億66百万円となりました。配当金の支払いがありましたが、第2四半期純利益などの増加により、前連結会計年度末に比べ45億46百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.0%から63.6%となりました。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期業績予想につきましては、平成23年9月29日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

なお、平成23年10月13日付「タイ国の洪水被害に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、タイ国における7月以降の豪雨にともなう洪水により、タイ国内の当社連結子会社の一部が被害を受けております。今回の洪水による損害額および当社グループの業績に与える影響につきましては現在調査中であり、今後重大な影響が見込まれる場合には速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(有形固定資産の減価償却方法の変更)

一部の国内連結子会社において、従来、一部の有形固定資産の減価償却方法について定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、有形固定資産の使用状況等に鑑み、費用配分の適正化を図るものであります。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	152,762	139,521
受取手形及び売掛金	194,632	214,988
有価証券	2,000	2,000
商品及び製品	56,964	63,226
仕掛品	10,614	10,030
原材料及び貯蔵品	26,834	27,806
繰延税金資産	10,873	10,685
その他	8,847	10,253
貸倒引当金	△2,872	△2,877
流動資産合計	460,658	475,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	86,282	83,268
機械装置及び運搬具（純額）	81,194	77,460
土地	82,793	78,630
建設仮勘定	27,254	38,318
その他（純額）	8,660	8,429
有形固定資産合計	286,186	286,107
無形固定資産		
投資その他の資産	3,632	3,344
投資有価証券	79,000	78,570
長期貸付金	523	221
繰延税金資産	22,979	18,863
その他	12,554	13,186
貸倒引当金	△1,576	△1,548
投資その他の資産合計	113,480	109,294
固定資産合計	403,299	398,746
資産合計	863,957	874,382

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,765	79,587
短期借入金	18,222	19,259
未払法人税等	3,722	4,177
災害損失引当金	4,741	3,163
事業構造改善引当金	2,367	1,926
その他	58,065	49,597
流動負債合計	161,884	157,713
固定負債		
社債	—	5,000
長期借入金	18,024	23,428
繰延税金負債	3,075	2,846
退職給付引当金	52,760	53,014
役員退職慰労引当金	959	917
特別修繕引当金	3,756	4,076
P C B対策引当金	893	893
事業構造改善引当金	1,585	1,586
アスベスト対策引当金	155	155
資産除去債務	1,561	1,567
負ののれん	529	289
その他	5,152	4,727
固定負債合計	88,453	98,502
負債合計	250,337	256,216
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,094	11,094
資本剰余金	349	349
利益剰余金	553,664	556,922
自己株式	△24,765	△24,767
株主資本合計	540,342	543,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,272	16,843
繰延ヘッジ損益	△976	△707
為替換算調整勘定	△4,074	△3,468
その他の包括利益累計額合計	12,221	12,667
少数株主持分	61,055	61,899
純資産合計	613,619	618,166
負債純資産合計	863,957	874,382

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	376,918	371,147
売上原価	318,732	316,877
売上総利益	58,186	54,270
販売費及び一般管理費	36,285	36,054
営業利益	21,900	18,216
営業外収益		
受取利息	304	269
受取配当金	1,082	1,135
受取賃貸料	992	882
負ののれん償却額	182	270
持分法による投資利益	47	69
その他	2,316	2,424
営業外収益合計	4,927	5,050
営業外費用		
支払利息	192	252
固定資産賃貸費用	837	909
固定資産除却損	354	259
為替差損	962	3,425
その他	1,629	1,718
営業外費用合計	3,976	6,565
経常利益	22,851	16,701
特別利益		
固定資産売却益	—	751
特別利益合計	—	751
特別損失		
災害による損失	—	1,634
災害損失引当金繰入額	—	1,719
アスベスト対策引当金繰入額	155	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,169	—
特別損失合計	1,325	3,354
税金等調整前四半期純利益	21,526	14,098
法人税等	10,236	8,444
少数株主損益調整前四半期純利益	11,290	5,654
少数株主利益	2,106	1,442
四半期純利益	9,183	4,212

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,290	5,654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,066	△588
繰延ヘッジ損益	△440	269
為替換算調整勘定	59	523
持分法適用会社に対する持分相当額	△50	△26
その他の包括利益合計	△5,498	177
四半期包括利益	5,791	5,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,912	4,657
少数株主に係る四半期包括利益	1,878	1,174

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	包装容器 関連事業	鋼板 関連事業	機能材料 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	325,926	29,118	14,034	369,079	7,839	376,918	—	376,918
セグメント間の 内部売上高又は振替高	266	23,215	10	23,492	2,909	26,402	△26,402	—
計	326,192	52,334	14,044	392,571	10,749	403,321	△26,402	376,918
セグメント利益	15,941	3,363	2,128	21,433	536	21,969	△68	21,900

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、硬質合金、損害保険代理業及び不動産管理業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額△68百万円には、セグメント間取引消去等が含まれている。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	包装容器 関連事業	鋼板 関連事業	機能材料 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	323,789	25,466	14,465	363,721	7,426	371,147	—	371,147
セグメント間の 内部売上高又は振替高	245	22,682	5	22,934	3,045	25,979	△25,979	—
計	324,035	48,148	14,471	386,655	10,472	397,127	△25,979	371,147
セグメント利益	15,420	675	1,521	17,616	457	18,074	141	18,216

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、硬質合金、損害保険代理業及び不動産管理業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額141百万円には、セグメント間取引消去等が含まれている。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 所在地別セグメント

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	359,802	16,908	206	376,918	—	376,918
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,627	1,161	1	2,790	△2,790	—
計	361,430	18,070	208	379,709	△2,790	376,918
営業利益	20,943	713	13	21,670	230	21,900

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1)アジア……タイ、マレーシア、中国

(2)その他……米国

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	352,852	18,079	215	371,147	—	371,147
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,495	2,411	1	3,908	△3,908	—
計	354,347	20,491	216	375,056	△3,908	371,147
営業利益	17,520	482	15	18,018	198	18,216

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1)アジア……タイ、マレーシア、中国

(2)その他……米国